



会 社 案 内
COMPANY GUIDE



首都高メンテナンス西東京 株式 会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 TEL 03(5623)6888



この「パンフレット」の本体・差込を
抗菌処理加工しています。
SIAAマークはISO22196法により評
価された結果に基づき、抗菌製品技術
協議会ガイドラインで品質管理・情報
公開された製品に表示されています。

2023 年 10 月 作 成

首都高メンテナンス西東京株式会社

【写真】表紙上：両国JCT 表紙右：都心環状線 芝公園付近 表紙下：4号新環線 井原付近 表裏紙：荒船JCT
P01：都心環状線 汐留付近 P03：5号池袋線 池袋付近 P05：都心環状線 千鳥ヶ淵付近

事務所所在地

本社

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号

羽田事務所

〒144-0041

東京都大田区羽田空港1丁目13番1号

護国寺事務所

〒112-0015

東京都文京区目白台3丁目26番9号

ご挨拶

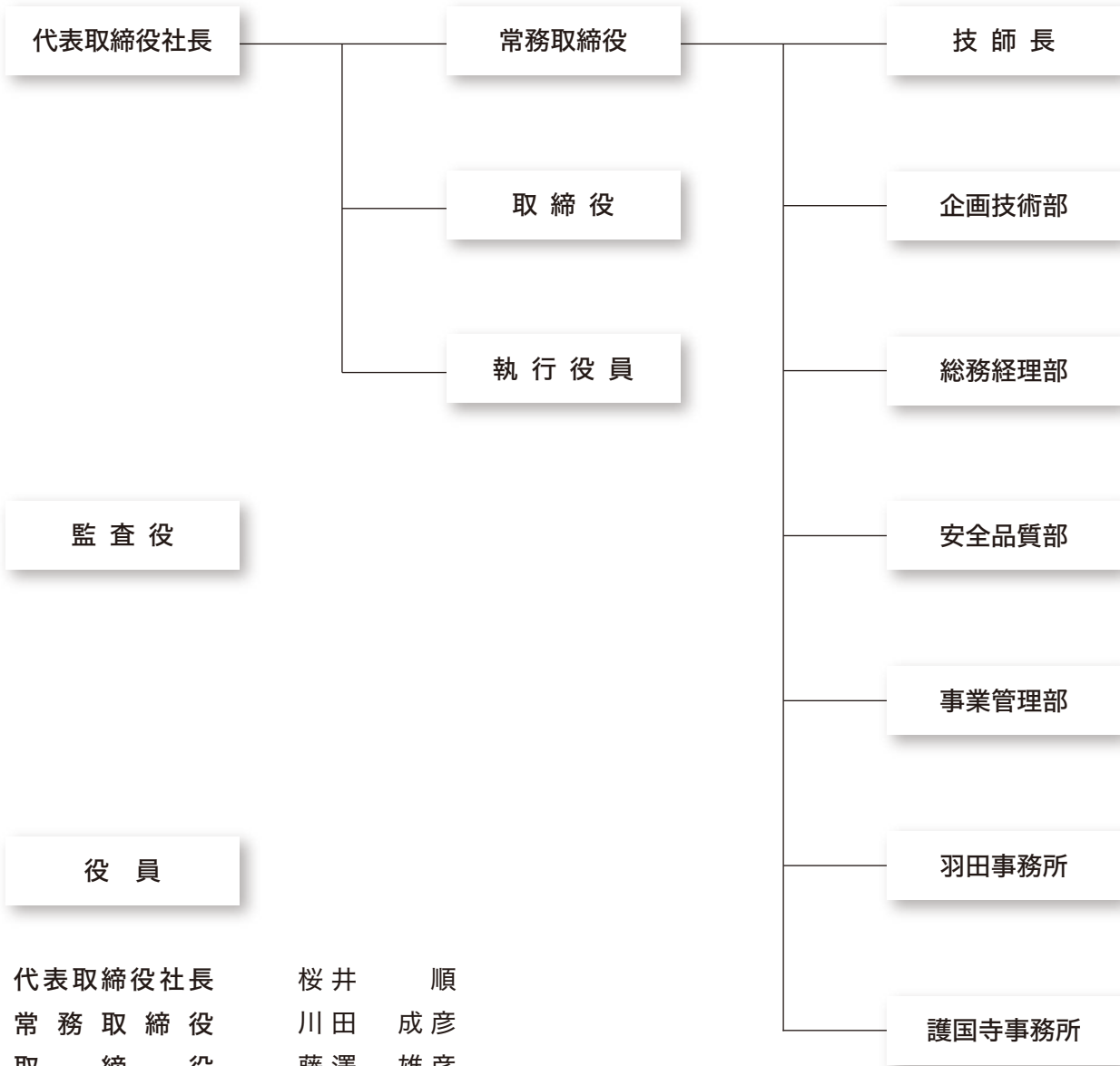
安全と高い品質、徹底した現場主義と強い信念で 首都圏の大動脈を担う

首都高メンテナンス西東京株式会社は、首都高速道路（東京西地区）の維持管理を行う土木技術の専門会社として2007年4月に設立され、今年17年目を迎えました。私たちは、「首都高グループの一員として、豊かで快適な社会の創造に貢献する」という基本理念のもと、複雑な線形と構造を持ち、開通後50年を超えた首都高速道路の維持修繕工事を、安全第一、高い品質で実施し、お客様が安全、快適に首都高速道路を利用いただけるよう努めてまいりました。この間、常に意識してきたのは、現場で起きている事実に向き合うことです。現場は生き物で昨日と今日では全く違う表情を見せます。また、時には想定を超えることや、私たちにとって不都合なことも発生します。こうした時にも、逃げずに正面から立ち向かうこと。もう一つは、首都高速道路の安全を守り抜くという強い信念をもって、すべての業務にあたること。これがお客様との約束であり、メンテナンスの基本であると考えています。構造物の老朽化、自然災害の激甚化といった現下の課題に対応し、安全をより確実なものとするため、また、豊かで快適な都市環境の創造に貢献するため、社員一同、これまでの経験を活かしつつ、技術力と実行力の一層の向上に取り組んでまいります。

代表取締役社長 桜井 順

組 織 図

2023年7月



代表取締役社長	桜井	順
常務取締役	川田	成彦
取締役	藤澤	雄彦
取締役	篠井	隆志
取締役	中村	充
常務執行役員	三村	啓子
執行役員	崎濱	秀仁
執行役員	酒井	高志
執行役員	徳永	孝継
監査役	吉種	忠彦
監査役	野末	英男

会社概要

会社名	首都高メンテナンス西東京株式会社
代表者	代表取締役社長 桜井 順
所在地	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 TEL.03-5623-6888 FAX.03-3667-5200
設立	2007年4月
資本金	9000万円 (2022年7月現在)
売上高	84億円 (2022年度)
社員数	85名 (2023年7月現在)
業務範囲	1. 道路構造物及び附属施設の維持修繕、改築、災害復旧及び新設の工事の請負 2. 道路構造物及び附属施設の維持修繕、改築、災害復旧及び新設に関する設計、 施工管理、調査、研究、試験、技術開発及び販売に関する業務 3. 上記各号に関するコンサルタントの業務 4. 道路構造物及び附属施設の点検に関する業務 5. 測量に関する業務 6. 土木工事及び建築工事の請負 7. 警備に関する業務 8. 道路清掃に関する業務 9. 前各号に付帯する業務
対象路線	首都高速道路1号羽田線・1号上野線・2号目黒線・3号渋谷線・4号新宿線・ 5号池袋線 (竹橋JCT～板橋JCT手前)・都心環状線・八重洲線・ 中央環状線 (熊野町JCT～大井JCT) (計97.0km 2022年5月1日以降)
補修基地	羽田基地及び事務所 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1丁目13番1号 TEL.03-3747-0785 護国寺基地及び事務所 〒112-0015 東京都文京区目白台3丁目26番9号 TEL.03-5319-8521 用賀基地 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀5丁目3番先 浦和南基地 〒336-0033 埼玉県さいたま市南区曲本1丁目16番23号
建設業許可	東京都知事 許可 (特-4) 第127895号

主な特許・実案新案等一覧 / 主な有資格者数

2023年7月

- 特 許 権**
- ・グレーチング蓋外れ止め装置（新型DHIセーフティロックグレーチング）
 - ・橋梁用漏水防止構造およびその形成方法（鋼製橋脚用FRP製マンホール蓋）
 - ・吹付け材の形成方法、及び、吹付け材の形成装置（床版上面増厚工法＝PCM舗装）
 - ・セメント混合物の施工方法、及び、収集装置（床版上面増厚工法＝PCM舗装）
 - ・落橋防止装置のケーブル破断防止構造（落下防止ケーブル破断防止構造）
 - ・作業状況表示制御装置、作業状況表示制御システム、及びプログラム（災害）
 - ・鋼構造物用補強材及びこれに用いられる補強材取付工具（鋼製橋脚用FRP製マンホール蓋）
 - ・内照式ロードコーン用LED装置（内照式カラーコーン用LED）
 - ・表示装置
 - ・電力供給装置及び保安灯システム（LED内照式工事予告看板）
 - ・内照式ロードコーン用LED装置（内照式カラーコーン用LEDコードレス）
 - ・除錆剤及び鋼構造物の除錆方
 - ・橋梁支承部におけるサイドブロックの落下防止装置
 - ・橋梁支承部における支承部材の落下防止装置
 - ・路面加熱装置、その施工方法、路面加熱方法、および路面加熱システム
 - ・既設橋梁の溶接部の疲労寿命向上及びき裂補修のための方法※
 - ・橋梁耐震装置
 - ・橋梁監視装置、橋梁監視システム、橋梁監視方法、及び橋梁監視プログラム※
 - ・ずれ検知センサ、橋梁監視システム、橋梁監視方法、及び橋梁監視プログラム※
 - ・橋梁用三次元桁変位センサモジュール、橋梁用三次元桁変位検知システム及び橋梁用三次元桁変位検知方法※
 - ・塗料および塗膜の形成方法（ブラッシュブル-M）※
 - ・段差防止材および橋梁（段差防止装置）※
 - ・発炎筒の転がり防止具※
 - ・ケーブル防護具（落下防止ケーブル防護具）※
 - ・誘導表示装置
 - ・監視システム
 - ・発炎筒投下装置※

※ 特許出願中

- 意匠登録**
- ・ケーブル張力解放用加熱安定器（PCケーブル張力開放用加熱炎防護用鞘管）

- 商 標**
- ・LIP-web
 - ・モニタリング・アイ（ロゴ+テキスト）
 - ・モニタリング・アイ（ロゴ）
 - ・ルミナス・セーフ（ロゴ）
 - ・ルミナス・セーフ
 - ・ルミナス・パワー（ロゴ）
 - ・ルミナス・パワー
 - ・ルミナス・セーフ コードレス（ロゴ）

主な有資格者数

技術士	5名	労働安全コンサルタント	1名
1級土木施工管理技士	41名	コンクリート主任技士	1名
1級造園施工管理技士	9名	コンクリート診断士	3名
1級舗装施工管理技士	1名		



首都高速道路ネットワーク(局別所掌区分)

2023年7月



Business Content

業務内容



安心・安全を守り抜く、技術と組織と人の力



維持修繕業務

高速道路を中心とした道路構造物のメンテナンス全般を行います。担当路線の特徴は、①古い路線が多い、②路肩が狭く、線形が悪い、③トンネルが多いなど厳しい条件下での工事となります。安全に工事を行うため、綿密な工事計画、設計、監督のほか、路線を熟知した上での保安規制計画、他社工事との調整や規制設置も重要な業務です。



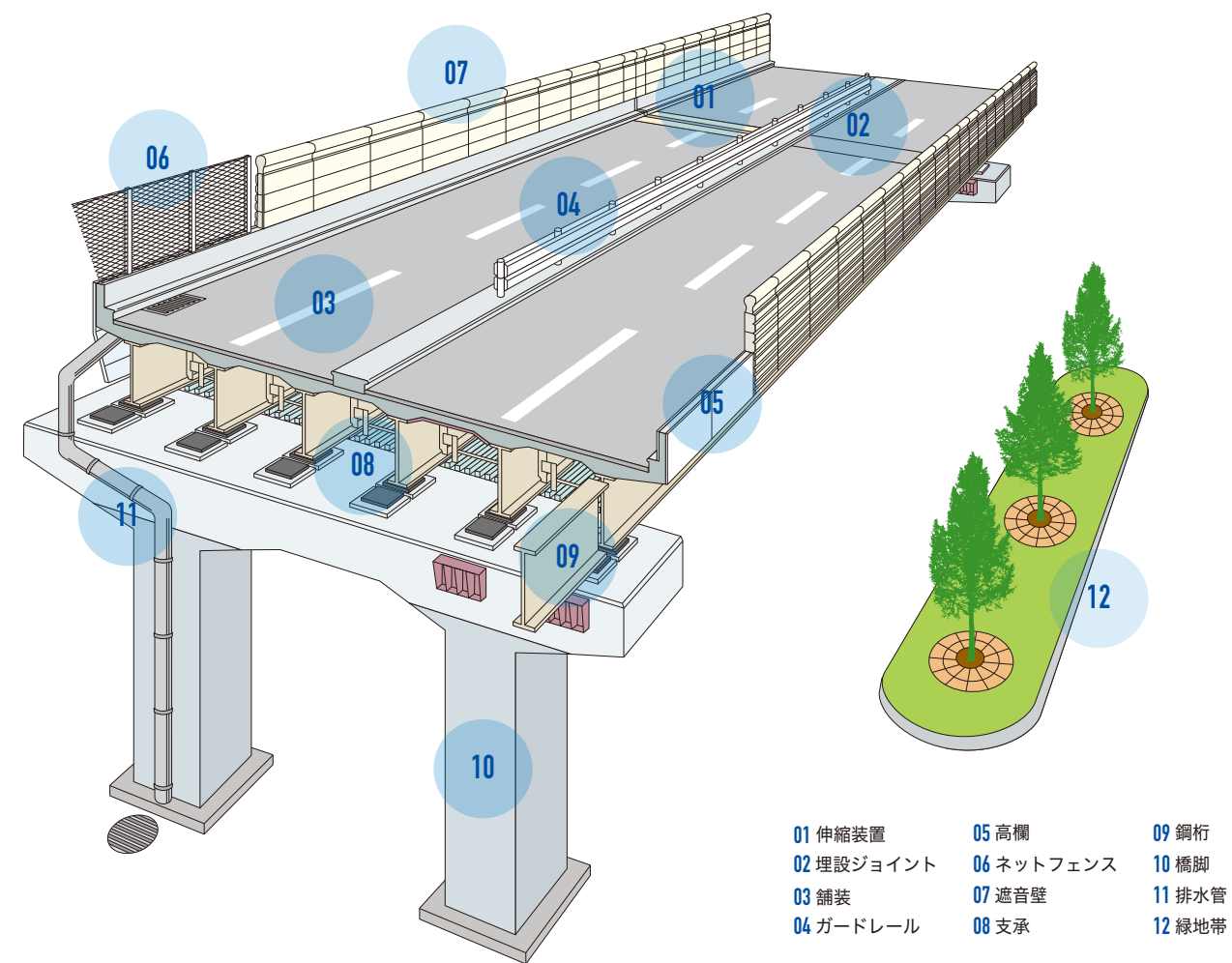
緊急応急・地震対策・積雪凍結対策

交通事故などによる道路構造物・付属施設の破損や落下物は、2次災害を招く危険性があるため、迅速に対応します。また、大地震や大雪などの自然災害に対しても24時間体制で対応しています。特に緊急事態に即した訓練は、毎月実施しています。さらに、地震時の初期点検訓練や道路啓開訓練等も定期的に行っています。



調査・点検・補修

毎日膨大な交通量を支えている高速道路。そのため、お客さまが普段目にする事のない道路下もダメージを受けています。このため、点検で発見された重大な損傷は即時に対応してトラブルを未然に防ぎます。経年劣化による損傷が発見された場合は、計画的に現場調査を行い、施工計画を立てて補修を実施しています。



首都高速道路を中心とした道路構造物メンテナンスの“最前線”

安全管理



環境対策



品質向上



技術力向上



道路施設を健全な状態に保つための高速道路工事は、首都高会社が定める『高速道路上工事の保安施設実施要領』に基づいて実施します。工事は主に夜間、車線規制を設置するため、綿密な施工計画と毎日の危険予知活動の実施により、お客さまの安全かつ円滑な通行の確保と作業時における安全を確保しています。

- 渋滞を少なくするため、夜間に工事を実施
- 路線別・方向別に曜日を決めて工事を実施
- 音が出る作業は、沿線住民の皆さまにちらし等により事前に広報
- 大きな音が出る作業は、沿線住民の皆さまの就寝前に実施

ISO9001(品質マネジメントシステム)を取得し、社内の品質向上に努めています。社内の品質マニュアルで具体的に品質方針を定め、品質の向上を図っています。また、顧客のご意見、苦情、要望があった場合は、是正処置・予防措置につなげて、継続的な改善も行っています。

当社の担当する区間は、供用後50年を経過した路線も多くあり、また、交通量が多く、損傷劣化は多種多様です。このため、従来工法にとらわれず積極的に新技術の採用や開発に取り組んでいます。また、個人の技術力は会社の技術力にもつながるため、各種資格試験の受験および各種講習の受講を支援しています。

Appropriate Maintenance
適切なメンテナンス

Main artery of the city

私たちは道路のプロフェッショナルとして、
メンテナンスを通じて首都の大動脈を支え続けます。
安全と安心の未来へ向かって、これまでも、これからも。

Basic Principle

基本理念

私たちは、首都高速道路株式会社のグループ企業の一員として、
首都圏のひと・まち・くらしを結ぶ安全円滑な首都高速道路ネットワークの
維持管理を通して、豊かで快適な社会の創造に貢献します。